



The University of Tokyo Chiba Forest

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

千葉演習林

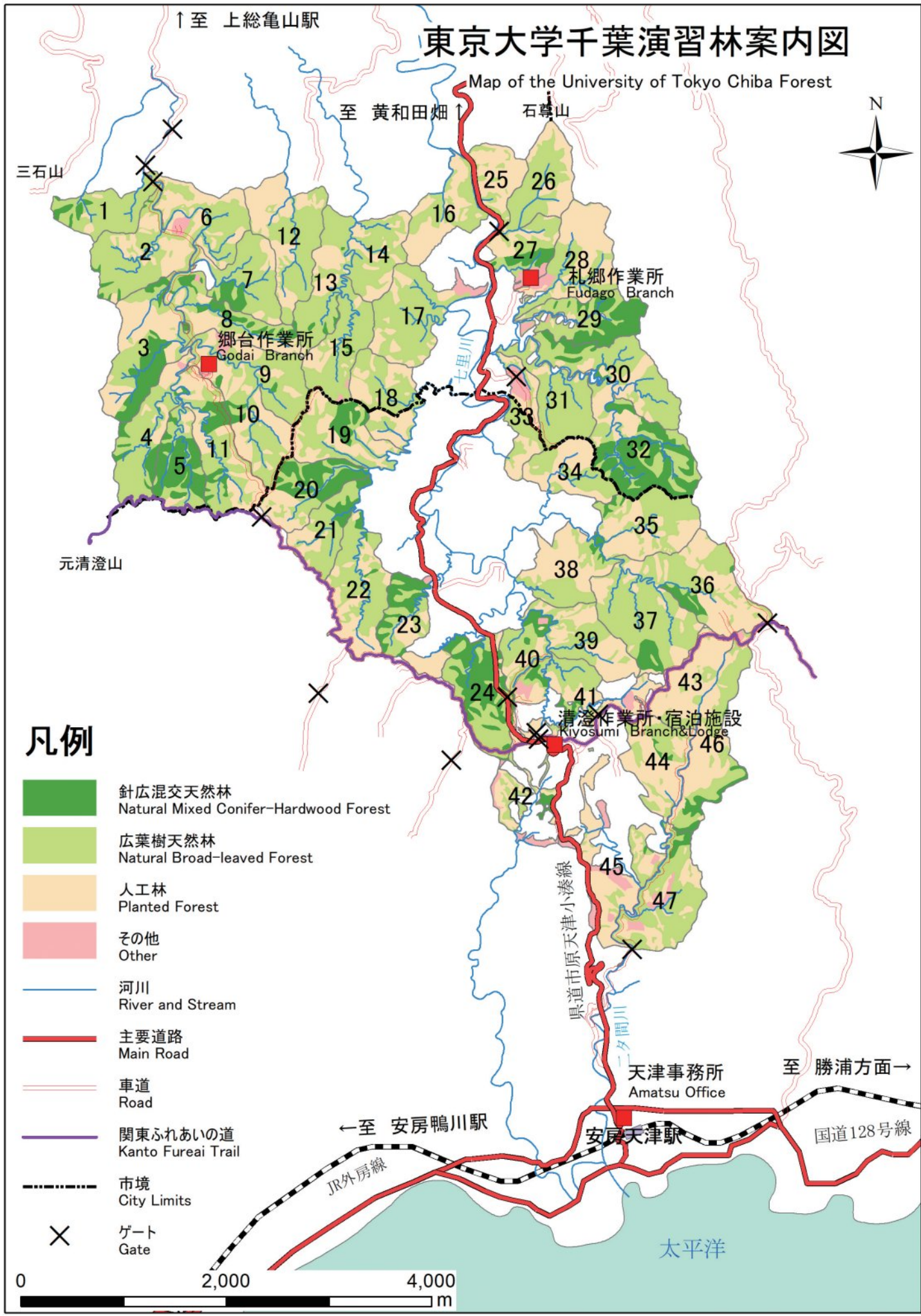
2025



The University of Tokyo Chiba Forest (UTCBF)
Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

東京大学千葉演習林案内図

Map of the University of Tokyo Chiba Forest



凡例

- 針広混交天然林
Natural Mixed Conifer-Hardwood Forest
- 広葉樹天然林
Natural Broad-leaved Forest
- 人工林
Planted Forest
- その他
Other
- 河川
River and Stream
- 主要道路
Main Road
- 車道
Road
- 関東ふれあいの道
Kanto Fureai Trail
- 市境
City Limits
- × ゲート
Gate



1. 沿革と概要

千葉演習林は、日本で最初の大学演習林として1894年に創設されました。創設当時の面積は334haで清澄寺周辺の森林のみでしたが、1897年に北側の奥山地区森林が加わり、現在の面積に近い土地面積となりました。1900年には郷台苗畑、1903年には札郷苗畑が開設されました。現在の土地面積は2,169haで林地を47の林班に区分して管理しています。

創設以来130年以上にわたり人工林の造成や天然林の維持に関する基盤的な情報を体系的に収集・整理し、森林科学の中心的な教育研究施設としての役割を果たしてきました。近年では、大学教育や研究、社会教育に最適なフィールドを提供し、森林に関わる教育と研究を自ら行うとともに、利用者による活用を促進すること、また自然環境の動態に関するデータを収集、整備、公表することを基本方針に掲げています。

2. 立地環境

千葉演習林は、房総半島の東南部、房総丘陵の東端に位置し、東京から東南に約100kmの距離にあります。北緯35°8'25"から12'51"、東経140°5'33"から10'10"の範囲にあって、北部は君津市、南部は鴨川市に属しています。千葉県道81号市原天津小湊線（清澄養老ライン）が南北を貫き、地元集落や民有地を囲うように存在しています。

千葉演習林のある房総半島南部は一般に海岸性気候で温暖多雨です。札郷観測所（標高206m）における2011～2020年の年平均気温は14.1℃、平均年降水量は2,474mmで房総半島における最多雨地域となっています。

千葉演習林を東西に横断する房総丘陵の主稜線（最高地点標高377m）を分水嶺として、南側は太平洋に注ぐ二夕間川の流域、北側は東京湾に注ぐ小櫃川上流域に分かれています。



写真1 堂沢の針広混交天然林

演習林の標高は約50～370mとそれほど高くはないものの、地形は複雑で急峻です。

地質は新第三紀海成層を基盤とし、第四紀非海成層に部分的に覆われており、断層が多く存在します。基岩は、砂岩、礫岩、泥岩、凝灰岩からなり、土壌は、主として褐色森林土からなっています。

3. 森林の特徴

創設当時は主にカシ類、スダジイ、タブノキ、サカキなどの常緑広葉樹からなる森林と、モミ、ツガを上木とする森林で構成されていました。

が、現在は全森林面積の約4割をスギ・ヒノキを主体とした人工林が占めています。植物相は極めて豊かで、約300種の木本類、約720種の草本類（うちシダ植物が約120種）が自生し、約20種の哺乳動物をはじめとした多くの動物の生息が確認されています。また、千葉演習林は南部が南房総国定公園の第3種特別地域（一部は第1種特別地域）に、北部が県立養老溪谷奥清澄自然公園第3種特別地域に指定されており、また全域が千葉県の清澄山鳥獣保護区（一部は特別保護地区）に指定されています。

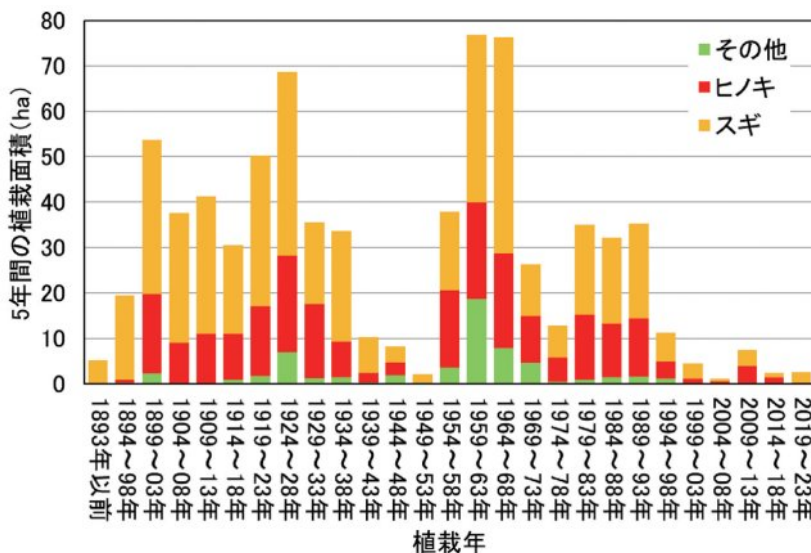


図1 植栽年ごとの人工林の面積（5年間の合計値）

千葉演習林には常緑広葉樹を中心とする暖温帯天然林とスギ・ヒノキを中心とする人工林があり、さらに暖温帯天然林を針広混交天然林と広葉樹天然林の2つに分け、主に以下の3つのタイプに区分しています。

(1) 針広混交天然林 (279 ha)

モミ・ツガを主体した針葉樹とカシ類、スダジイ、タブノキなどの常緑広葉樹が混じる高齡の森林です。房総半島では演習林内とその周辺にしかまとまって残されておらず、学術上貴重な森林です。

(2) 広葉樹天然林 (1,015 ha)

カシ類、スダジイ、コナラ、ケヤキ、カエデ類などで構成され、多くは薪炭材生産の終了とともにない放置された旧薪炭林や二次林です。一部に高齡の広葉樹林が分布しています。

(3) 人工林 (866 ha)

高齡級の人工林が多く存在し、80年生以上が2分の1、100年生以上が4分の1を占めています。スギ高齡林は最高齡の桜ヶ尾(1835年植栽)をはじめ、今澄(1859年植栽)、郷田倉(1894年植栽)、南沢(1896年植栽)、牛蒔沢(1905年植栽)などがあり、ヒノキ高齡林は大平(1900年植栽)、女滝(1903年植栽)などがあります。

このほかに見本林として、研究教育用に多様な樹種が植栽されています。外国産樹種見本林では、北米原産で世界一樹高が高くなるセンペルセコイアや、生きた化石と呼ばれるメタセコイアなど珍しい樹種も見られます。

4. 施設

天津事務所はJR外房線安房天津駅から300mに所在し、演習林南部の鴨川市側に清澄作業所と清澄宿泊施設があり、北部の君津市側には札郷作業所と郷台作業所があります。清澄の宿泊施設は学生実習や研究などのために学内外の方に利用されています。郷台作業所構内には郷台苗畑があり、近年では圃場実験にも活用されています。



写真2 牛蒔沢スギ人工林成長測定試験地

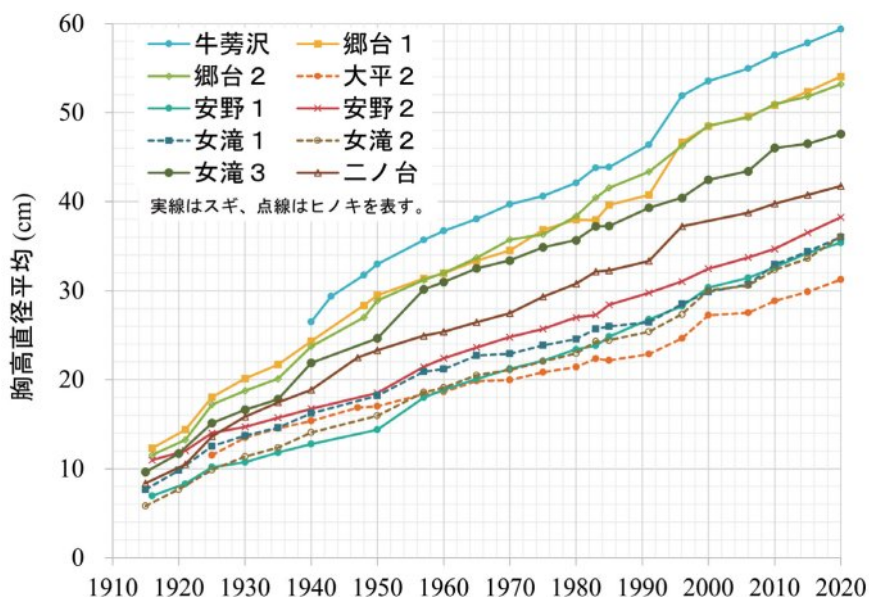


図2 スギ・ヒノキを植林した後100年以上継続して測定した直径成長

5. 大学教育

千葉演習林は、古くから林業における植え付けから伐採までの一連の人工林作業を実習する場所として利用されてきました。その歴史は1895年に本多静六助教授(当時)が始めた造林学などの実習にさかのぼることができ、130年以上経った現在でも森林科学基礎実習Iとしてその内容が受け継がれています。農学部・農学生命科学研究科の実習として森圏管理学実習、生圏システム学特論などを行っているほか、学部1、2年生を対象とした教養教育として総合科目や全学体験ゼミナールなどを行っています。実習では、人工林作業の体験のほかに、常緑樹林における森林動態や人や動物が森林に与える影響を観察・見学するなど、多角的な実習が行われています。また、

房総半島の特徴的な地層構造から地質学の実習地としても利用され、東京大学理学部のほか、千葉大、京都大など多くの大学が実習を行っています。学部生の卒論研究や大学院生の修論・博論研究のフィールドとしての利用も数多く受け入れています。



写真3 学生実習での植え付け作業



写真4 調査のためヒメコマツに登る職員

6. 研究

千葉演習林では、人工林や暖温帯天然林に関わる様々な研究を行っています。その中でも以下の3課題については組織的に調査・研究を行っています。

スギ・ヒノキ人工林の施業・管理

日本では将来、人工林の高齢化が進むことが予測されていますが、高齢人工林の成長や林分構造の変化についてはほとんど知見がありません。一方、千葉演習林では130年以上にわたり人工林を造成、施業、管理し、多様な林齢と立地の人工林やデータを保有しています。今後も高齢人工林の成長や林分構造の調査を行い、高齢人工林の将来予測のための基礎的知見を収集します。また、無人航空機（UAV）を用いた効率的な資源調査や森林吸収クレジットによる新たな経済価値創出なども検証しています。

暖温帯生態系の動態および保全

千葉演習林のモミ・ツガは他の分布域から離れ、天然分布の南限近くに位置しています。そのため、将来、温暖化等の影響による樹木の衰退や更新阻害が起こる可能性が考えられます。千葉演習林ではモミ・ツガの将来予測や保管理について知見を得るため、針広混交天然林の個体成長や更新動態の



写真5 ニホンジカ

モニタリングを長期間にわたり実施しています。

千葉演習林の森林では豊かな生態系が維持されているため、県内でもここにしかない動植物が多数存在しています。2021年に千葉県立中央博物館との連携協力に関する協定を締結し、生物相の解明をさらに発展させようとしています。

その他、下層植生に影響を与えるシカやキョンの生息数調査やヒメコマツの保全などにも取り組んでいます。

林木育種と増殖技術の確立

1970年代からマツ材線虫病抵抗性マツの選抜を独自に行ってきました。近年は国や県の研究機関と共同で検定を行い、2021年には千葉演習林産の抵抗性アカマツ2系統が品種登録されました。また、抵抗性マツやヒメコマツの系統保存のため、挿し木を使ったクローン増殖法の確立を目指しています。



写真6 発根したマツの挿し木苗

7. 社会連携

千葉県鴨川市および君津市と締結した地域交流協定に基づき、小・中学校の総合学習や課外授業等に利用されています。さらに全国の高校生を対象とした森と海のゼミナールを千葉大学海洋バイオシステム研究センターと連携して行っています。千葉演習林の林道・歩道の一部は、関東ふれあいの道（首都圏自然歩道）として開放しています。このうち、モミ・ツガのみちは年間を通じて一般の人が通行することができますが、アジサイのみちは林道の崩壊のため通行止めとなっています。



写真7 一般公開

8. その他

1) 森林博物資料館

森林博物資料館は清澄作業所構内にあり、動植物・木材・木炭・木工芸品などの標本、江戸時代の林業解説絵巻、かつて清澄寺や千葉演習林に生えていた巨木の輪切り円板、舶来品を含む古い林業道具、各種トピックの解説などを常設展示しており、学生実習等に利用されています。

森林博物資料館は、利用を認められた団体等は有料で見学することもできます。見学を希望される団体等は千葉演習林天津事務所にお問い合わせください。なお、無料で見学できる一般公開日やオンライン公開ページもありますので、千葉演習林のウェブサイト等でご確認ください。



写真 8 森林博物資料館

2) 公開データ

教育研究の基礎となるデータの収集・整理に取り組んでいます。動植物や気象・水文水質などの千葉演習林関連データは以下のウェブサイトで公表されています。

https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/research/open_data.html



3) 出版物

わが国最古の「大学の森」 東京大学千葉演習林のすべて

東京大学千葉演習林120周年を記念して出版されました。千葉演習林の姿を深く知ることのできる書籍となっています。
千葉演習林生き物ガイドブック

林内に生息する植物・動物の写真を掲載し、わかりやすく解説しています。ガイドブックの写真は演習林教職員が撮影したものです。

“森たび” 東京大学演習林の見どころ 100

東京大学の7演習林などの見どころを紹介しています。



購入方法は、メールまたは電話にてお問い合わせいただくか、アマゾンでの通販をご利用ください。

<https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/about/goods.html>

利用案内

千葉演習林は森林をフィールドとした教育研究を目的としている施設です。利用目的や内容によっては利用許可を出せない場合もございますので、まずは電話かメールにてご相談ください。
 その上で、利用申請書類をウェブサイトからダウンロードして作成・提出をお願いいたします。

利用の窓口

千葉演習林天津事務所

〒 299-5503 千葉県鴨川市天津 770
 TEL 04-7094-0621 FAX 04-7094-2321

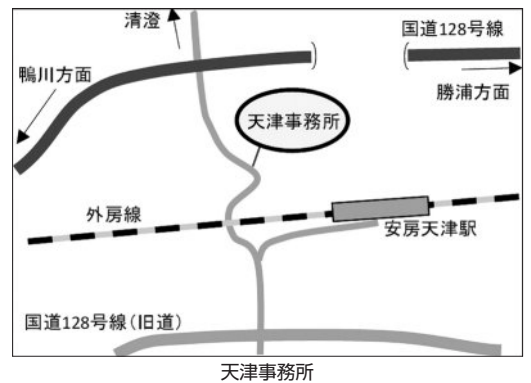
アクセス

<電車>

東京駅 - (JR 外房線 約 2 ~ 3 時間) - 安房天津駅 - (徒歩 5 分)
 - 天津事務所

<高速バス>

バスターミナル東京八重洲 - (高速バス「アクシー号」約 2 時間) -
 亀田病院 - (路線バス日東交通約 5 分) - 天津駅前 - (徒歩 5 分)
 - 天津事務所



宿泊施設

清澄宿泊施設 / 清澄宿泊施設 2 (ログハウス)

清澄宿泊施設：定員 40 名、食事あり

ログハウス：定員 7 名、食事なし・自炊可

所在地 〒 299-5505 千葉県鴨川市清澄 135

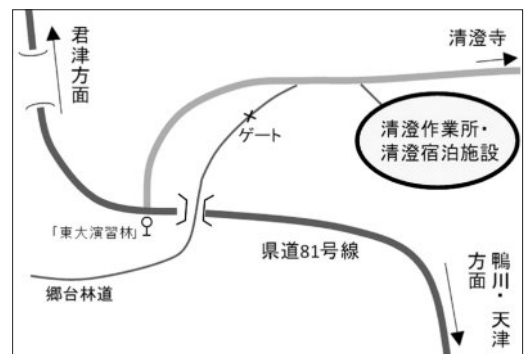
TEL 04-7094-0585 (清澄作業所)

利用条件

千葉演習林宿泊施設の施設使用料 (令和 5 年 10 月 1 日改定)

施設名	定員	宿泊料金						その他
		本学		他大学等				
		教職員		学生等		教職員		
		1~6泊	7泊目~	1~6泊	7泊目~	1~6泊	7泊目~	
清澄宿泊施設	40	1,400	1,100	900	800	1,800	1,500	2,900
清澄宿泊施設2 (ログハウス)	7	2,700	2,300	1,700	1,400	3,300	2,700	5,500

- 本学の学生・大学院生・研究生、および義務教育修了前の方は施設使用料が免除されます。
- 7泊目～：連続して宿泊する7泊目以降の1泊あたりの金額です。
- 食事提供を希望される場合：朝食¥600・昼食¥700・夕食¥1,000 (3食で¥2,300) が別途必要です。
- 清澄宿泊施設 2 (ログハウス) は基本的に自炊宿舎です。
- 清澄宿泊施設 2 (ログハウス) はシーツ洗濯代として1滞在につき1人 ¥600 が別途必要です。



清澄作業所・清澄宿泊施設



東京大学大学院
農学生命科学研究科附属

演習林

The University of Tokyo Forests,
Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo



東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林

〒 299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL 04-7094-0621 FAX 04-7094-2321

E-mail chibaen@uf.a.u-tokyo.ac.jp

ウェブサイト <https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>



千葉演習林
公式 Facebook ページ



千葉演習林
ウェブサイト



千葉演習林
インスタグラム